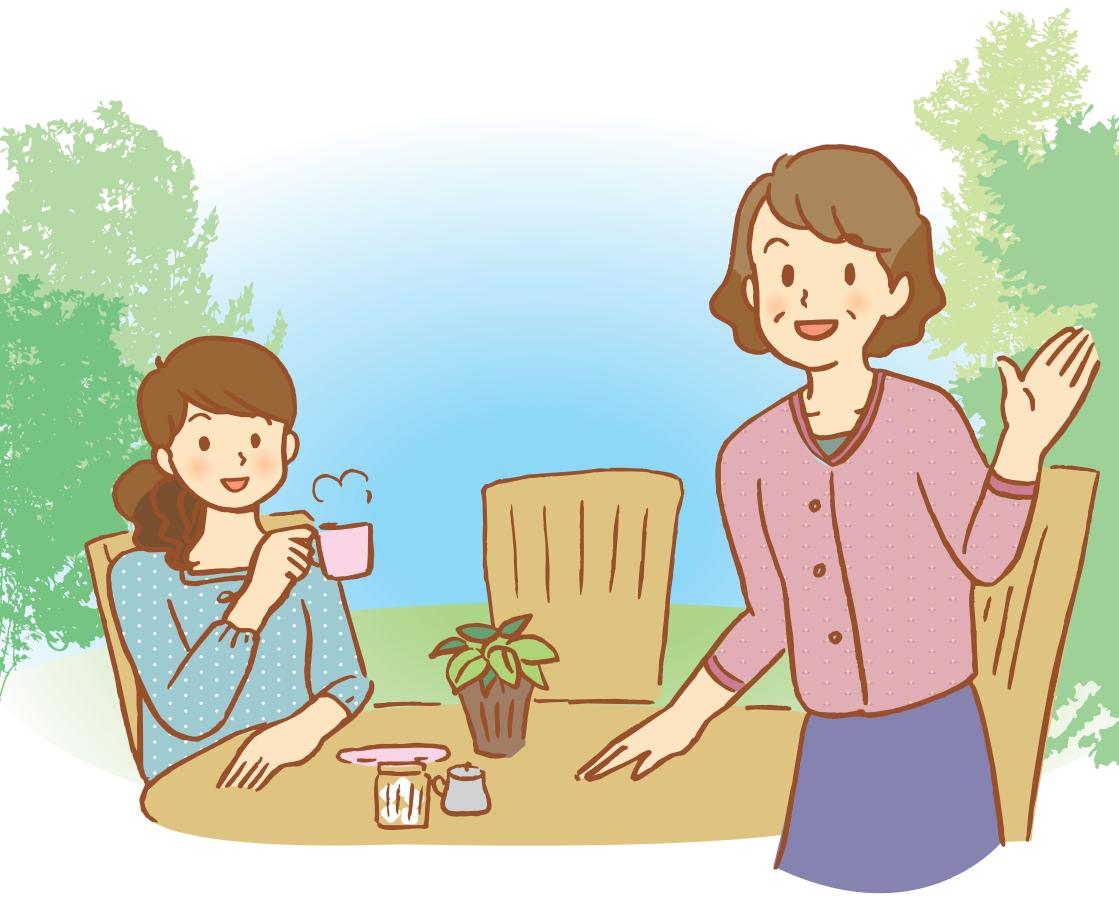


アナストロゾール錠「日医工」 による治療を受ける方へ

ホルモン療法の紹介と服薬の注意

監修：埼玉医科大学国際医療センター 病院長
乳腺腫瘍科 教授

佐伯 俊昭 先生



はじめに

この冊子は、あなたが安心してホルモン療法に取り組めるようにとの思いで作成しました。

ホルモン療法は、『ホルモン感受性乳がん』の患者さんにとっては抗がん剤治療より効果的な治療法です。アストロゾール錠1mg「日医工」による治療もホルモン療法です。毎日、飲み続けるお薬について正しく理解していただくための資料として、ご利用いただければ幸いです。

長い期間、治療を続けるにはお薬のこと、副作用のことなどについて十分に理解して向き合うことがとても大切です。この冊子を読んでもわからないことや、不安に思うことがありましたら、遠慮なく担当医師、看護師、薬剤師にご相談下さい。



目 次

● ホルモン療法って、どんな治療法ですか？	2
● エストロゲンはどのように作られるのですか？	6
● アナストロゾール錠1mg「日医工」はどのようなお薬ですか？	8
● アナストロゾール錠1mg「日医工」による 術後ホルモン療法について教えてください。	10
● タモキシフェンによる治療終了後に、アナストロゾール錠 1mg「日医工」を服用する場合もありますか？	12
● アナストロゾール錠1mg「日医工」による進行乳がんや 手術後の再発乳がんの治療について教えてください。	14
● アナストロゾール錠1mg「日医工」の副作用を教えてください。	16
● アナストロゾール錠1mg「日医工」服用中に 注意することはありますか？	18
● このような症状があらわれたときには、 担当医師にご相談してください。	20
● そのほかに、日常生活で気をつけることはありますか？	22
● アナストロゾール錠1mg「日医工」の服薬方法・注意点は？	23



ホルモン療法って、 どんな治療法ですか？

※ 女性ホルモンには、「エストロゲン（卵胞ホルモン）」と「プロゲステロン（黄体ホルモン）」と呼ばれる2つの種類があります。

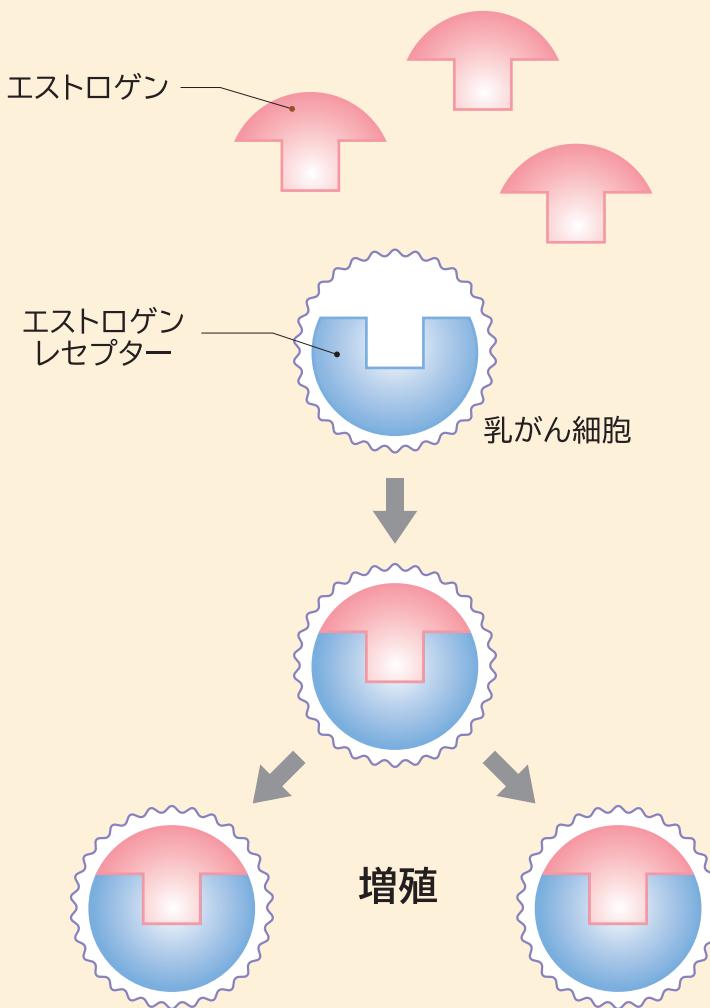
ホルモン療法はエストロゲンの作用を抑えて、乳がん細胞が増えるのを防ぐ治療法です。

エストロゲンの働きで増殖する 『ホルモン感受性乳がん』

乳がんにはエストロゲンの働きで増殖するものと、そうでないものがあります。エストロゲンの働きで、乳がん細胞が増えるものを『ホルモン感受性乳がん』と呼び、全体の6～7割を占めています。



『ホルモン感受性乳がん』の増殖のしくみ



エストロゲンが、乳がん細胞内部のエストロゲン受容体（エストロゲンレセプター）と結合すると、乳がん細胞が増殖しはじめ、乳がんが大きくなります。

ホルモン療法は エストロゲンの作用を抑える治療法

ホルモン療法とは、このような『ホルモン感受性乳がん』に対して、お薬で体内のエストロゲンを減らしたり、作用を抑える治療法です。

また、ホルモン療法は抗がん剤治療に比べて副作用が少なく身体への負担が軽いという特徴があり、ホルモン感受性乳がんの重要な治療法のひとつになっています。

ホルモン療法では、乳がん細胞の数が比較的ゆっくりと減少していきます。そのため、あせらず、じっくりと治療を続けていくことがとても大切です。





ホルモン療法で効果が期待できるのは どんな人ですか？

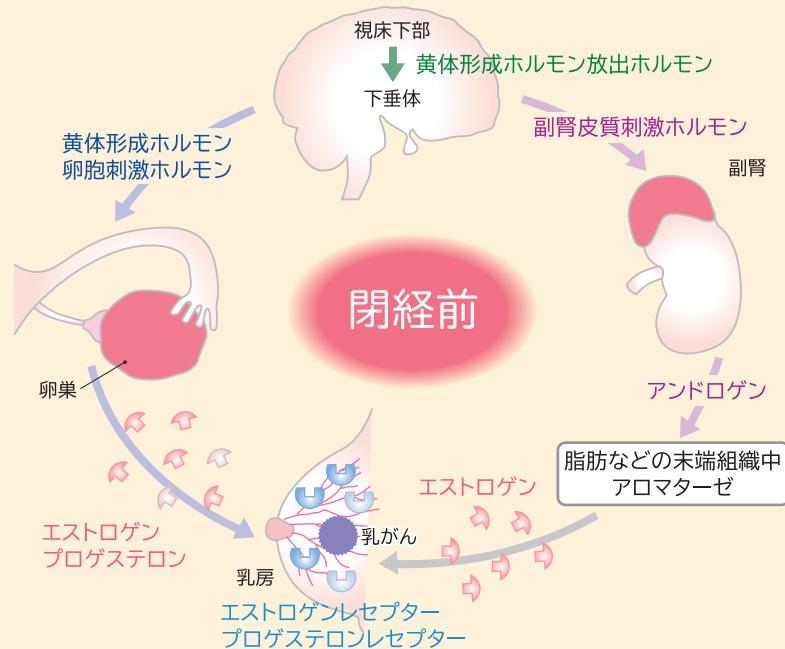
ホルモン療法で効果が期待できるかは、手術などで取り除いた乳がん細胞に女性ホルモン（エストロゲン、プロゲステロン）を感じる「ホルモン受容体」がどのくらいあるかを調べるとわかります。

ホルモン受容体にはエストロゲン受容体（ER）とプロゲステロン受容体（PgR）があり、これらのうち両方またはいずれかが確認された場合に、ホルモン療法の効果が期待できます。

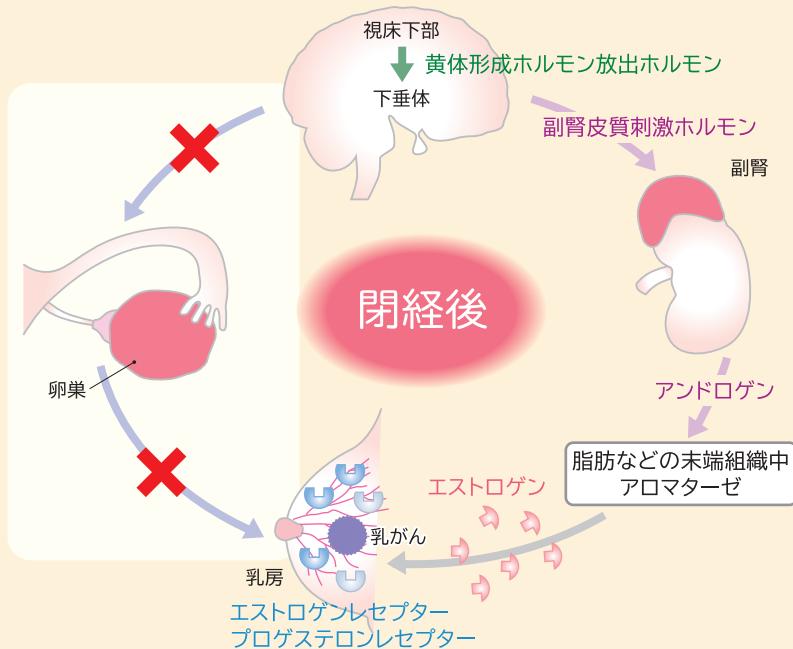


エストロゲンは どのように作られるのですか？

女性の体は、閉経前と閉経後でホルモン環境が大きく変わります。エストロゲンも閉経前と閉経後では作られる経路が異なります。



閉経前の女性では、思春期以降、エストロゲンは卵巣から豊富に分泌されています。また、わずかですが脂肪組織では、アンドロゲン（男性ホルモン）からエストロゲンを作り出しています。

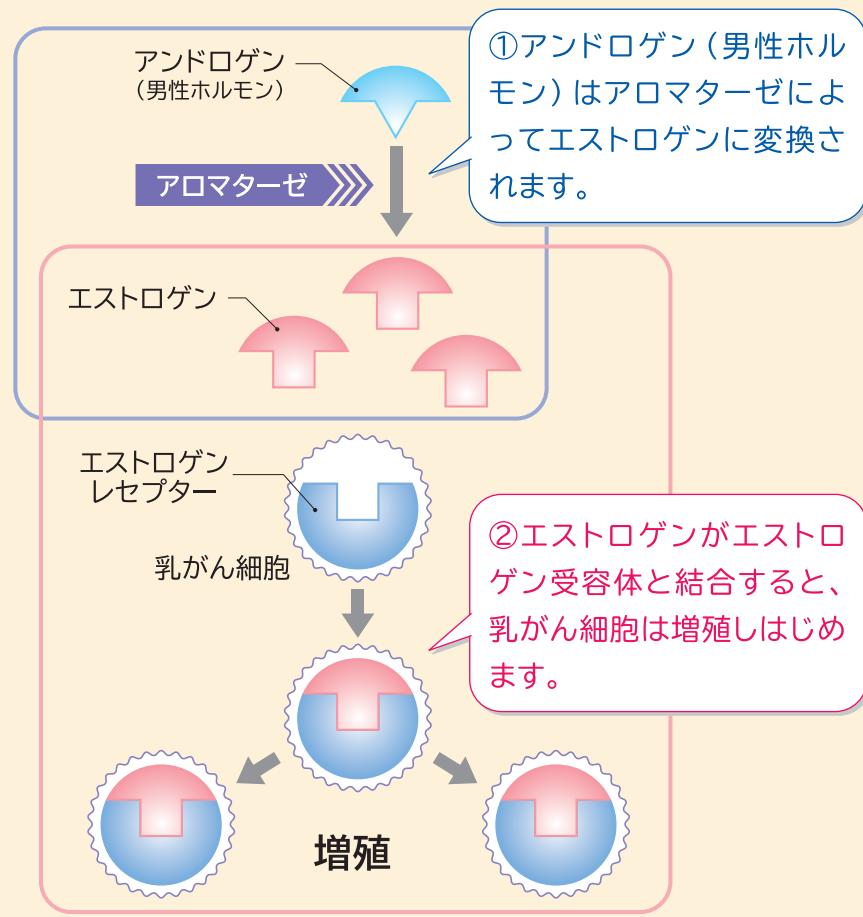


閉経後の女性では、卵巣からのエストロゲン分泌は止まりますが、エストロゲンがなくなるわけではありません。エストロゲンは脂肪組織で作られることになります。副腎から分泌されるアンドロゲン（男性ホルモン）が脂肪組織でエストロゲンに変わると、アロマターゼという酵素が働いています。

アナストロゾール錠1mg「日医工」は どのようなお薬ですか？

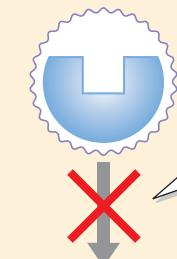
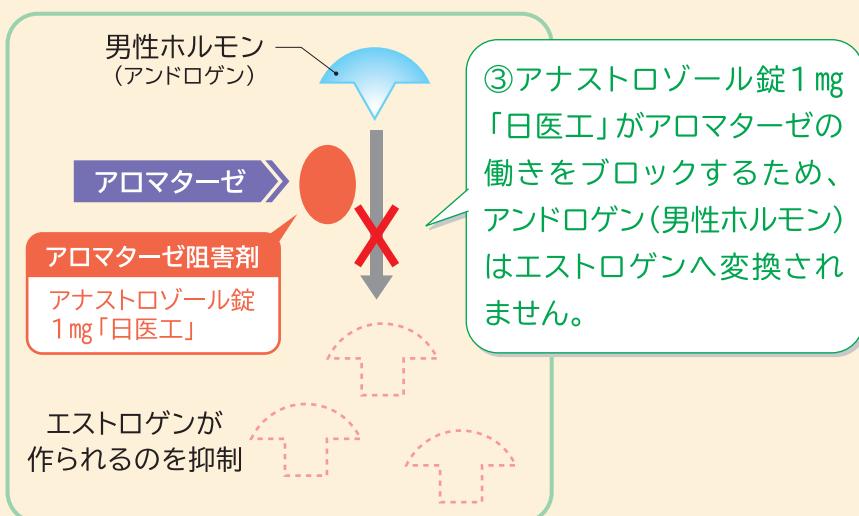
閉経後女性がエストロゲンを作るのに必要なアロマターゼと言う酵素の働きを抑えるホルモン療法剤です。

アロマターゼの働き





アナストロゾール錠1mg「日医工」の作用



④エストロゲンが作られる
のが抑えられるため、乳がん
細胞は増殖できなくなります。

乳がん細胞の
増殖を抑制

アナストロゾール錠 1mg「日医工」による 術後ホルモン療法について 教えてください。

術後ホルモン療法とは、手術後の再発を防ぐことを目的として行われる治療です。アナストロゾール錠1mg「日医工」は閉経後ホルモン感受性乳がんの術後ホルモン療法に用いられます。

手術直後から服用を始める治療法

乳がんは手術ですべてのしこりを取り除いても、どのような検査でもわからない微小ながん細胞が全身に広がっている可能性があり、「全身の病気」といわれています。

手術直後からアナストロゾール錠1mg「日医工」による治療を行い、こうした検査でもわからない微小ながん細胞の増殖を抑えることで、再発の可能性が低くなります。



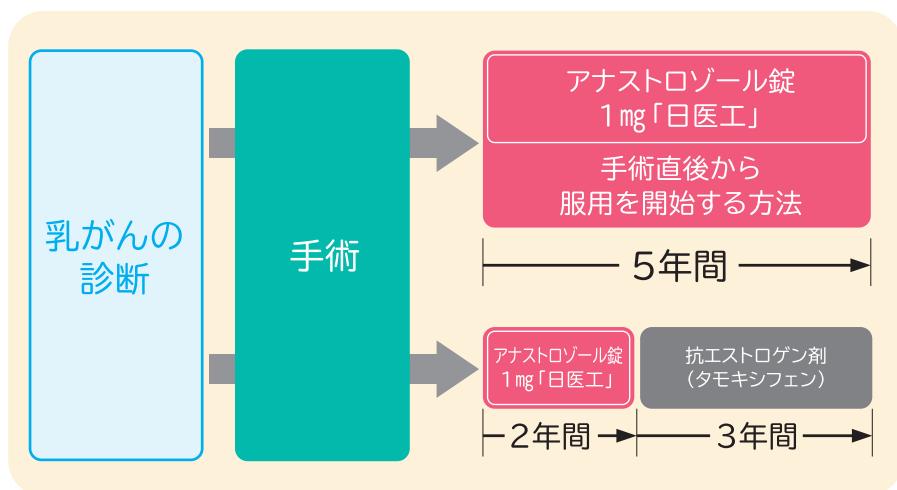
術後ホルモン療法では、どのくらいの期間、お薬を服用するのですか？

ホルモン感受性乳がんは、ほかのがんと比べると進行がゆっくりしているといわれます。このため、再発の予防のための術後ホルモン療法とは長期間つき合っていく必要があります。

エストロゲンを取り込むことで増殖する性質の「ホルモン感受性乳がん」では、エストロゲンの產生を抑えることで、再発を抑制することが期待できます。

術後ホルモン療法をアナストロゾール錠1mg「日医工」で開始する場合は、次の2種類の治療法があります。

- ①アナストロゾール錠1mg「日医工」を5年間服用
- ②アナストロゾール錠1mg「日医工」を2年間服用したのち、抗エストロゲン剤であるタモキシフエンを3年間服用



タモキシフェンによる治療終了後に、 アナストロゾール錠1mg「日医工」を 服用する場合もありますか？

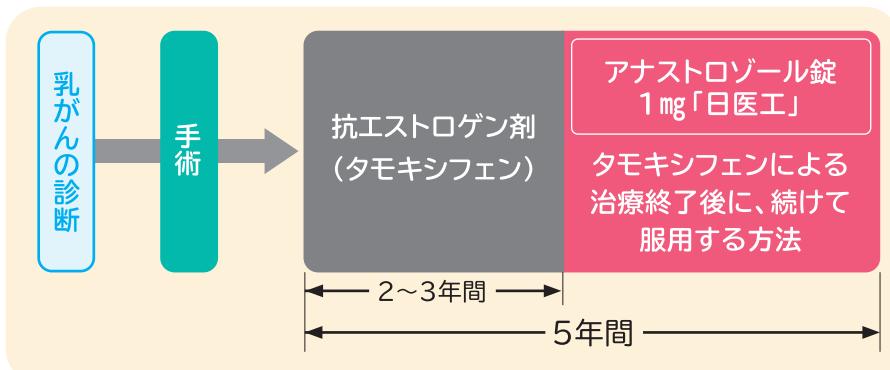
術後ホルモン療法をタモキシフェンで開始した場合、治療終了後にアナストロゾール錠1mg「日医工」によって治療を続ける場合があります。

抗エストロゲン剤であるタモキシフェンの治療終了後に
アナストロゾール錠1mg「日医工」を続けて服用する方法

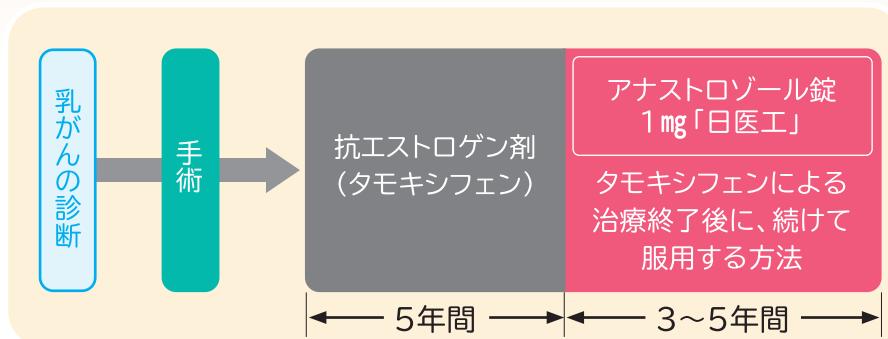
術後ホルモン療法を抗エストロゲン剤である「タモキシフェン」で開始する場合もあります。

このような場合には、次の3種類の治療法があります。

- ①タモキシフェンを5年間または、10年間服用
- ②タモキシフェンを2~3年間服用したあとに、アナストロゾール錠1mg「日医工」に切り替えて、合計5年間の治療



③タモキシフェンによる5年間の治療終了後にアナストロゾール錠1mg「日医工」による治療を3~5年間追加



アナストロゾール錠1mg「日医工」と 抗エストロゲン剤(タモキシフェン)の ちがいは何ですか？

抗エストロゲン剤(タモキシフェン)とアナストロゾール錠1mg「日医工」は作用が異なるお薬です。抗エストロゲン剤は、がん細胞がエストロゲンを取り込むのを抑えるお薬で、閉経前・閉経後の患者さんに用いられます。一方、アナストロゾール錠1mg「日医工」は、アロマターゼ阻害剤と言うお薬で、体内のエストロゲンの量を減らし、閉経後の患者さんに用います。

アナストロゾール錠1mg「日医工」による進行乳がんや手術後の再発乳がんの治療について教えてください。

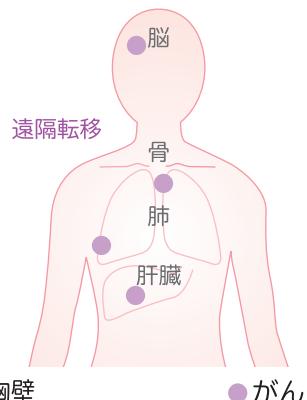
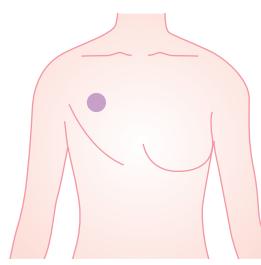
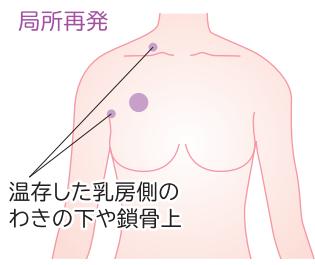
ホルモン感受性乳がんが進行・再発した場合にアナストロゾール錠1mg「日医工」を服用することで、症状をやわらげたり、進行を遅らせることができます。

進行乳がん・再発乳がんとその症状

乳がんの病勢が進行することを進行乳がん、手術後に再び乳がんが現われることを再発乳がんといいます。

初回治療後にがんが治療した乳房周囲に再び現われることを局所再発といい、がんが元の病巣と違う臓器に飛び火していることを遠隔転移といいます。

再発・転移しやすいところ



再発・転移の症状

再発・転移部位	主な症状
骨	痛み、骨折（転移が起こりやすい骨の部位：脊椎、肋骨、骨盤、大腿骨、上腕骨など）
局所・リンパ節	しこり
肺	咳、息切れ、動悸
肝臓	おなかがはる、みぞおちの圧迫感、黄疸

アナストロゾール錠1mg「日医工」は、
がんの進行を抑えたり、
症状をやわらげる治療に用いられる

乳がんの患者さんの中には、手術後しばらくたって再発したり、最初に受診されたときに、すでに進行している患者さんもおられます。

アナストロゾール錠1mg「日医工」は、ホルモン感受性の乳がんであれば、このような再発した患者さんや、すでに進行している患者さんにおいても、がんの進行を抑えたり症状をやわらげたりして、普段の生活をおくれることが期待できます。

アナストロゾール錠1mg「日医工」 の副作用を教えてください。

主な副作用は「関節のこわばり」「関節痛」「骨粗鬆症」「骨折」「ほてり」「頭痛」「はき気」などです。

主な副作用

アナストロゾール錠1mg「日医工」の副作用の症状や現われ方には個人差があります。今までに知られている主な副作用の症状として以下のようないことがあります。

●関節のこわばり、関節痛

手首、ひじ、ひざなどの身体の節々がこわばったり痛んだりすることがあります。起床時に床の中で十分に動かしてから起きたりすると「こわばり」が軽くなることもあります。痛む場合には痛み止めのお薬にて治療なども行いますので、無理せず担当医師に相談してください。





●骨粗鬆症、骨折（骨密度の低下）

骨からカルシウムが失われ、症状が進むと腰や背中に痛みが生じ、骨折の危険性も高くなります。定期的に骨密度の検査を受けるようにしましょう。

●ほてり

のぼせたような感じで、顔や体が熱くなったり、汗をかきやすくなったりすることがあります。体をしめつけない服装など工夫してみましょう。



●頭痛

頭が痛くなることがあります。痛みの種類はさまざまです、個人差がありますので、症状が気になるときには担当医師に相談してください。

●はき気

気持ちが悪くなったり、はき気が起きることがあります。はき気がひどい場合には無理して食べずに担当医師に相談してください。はき気止めのお薬を服用することで症状をやわらげることが可能です。



アナストロゾール錠1mg「日医工」 服用中に注意することは ありますか？

アナストロゾール錠1mg「日医工」を含むアロマターゼ阻害剤は骨密度を低下させる場合もあります。

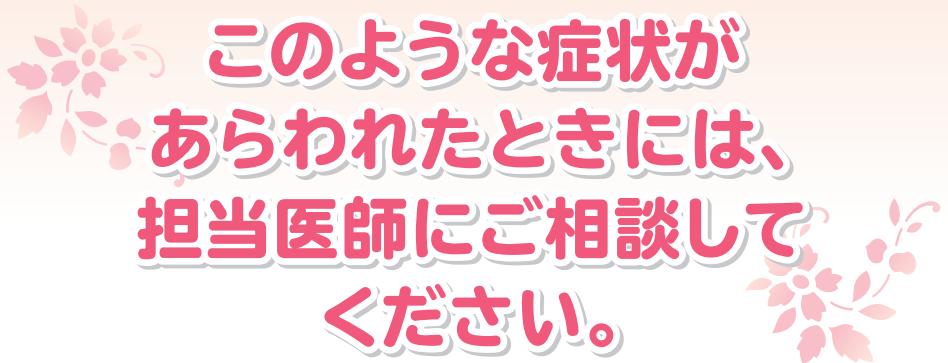
食事のバランスを考えて カルシウムなどを十分にとる

骨からカルシウムが失われ、症状が進むと腰や背中が痛むことがあります。また、骨折の危険性も高くなります。アナストロゾール錠1mg「日医工」の服用中は、定期的な検査を受けて骨の状態を確認します。また日頃から、カルシウム、ビタミンD、ビタミンKの多い食事や適度な運動などを心がけてください。

骨の形成に必要な栄養素

	摂取目標値/日	含量の多い食品
カルシウム	800mg以上	牛乳、乳製品、小松菜、チンゲン菜、大豆製品、小魚、干し海老など
ビタミンD	400~800IU (10~20μg)	きくらげ、サケ、ウナギ、サンマ、メカジキ、カレイなど
ビタミンK	250~300μg	卵、納豆、ほうれん草、小松菜、にら、ブロッコリー、サニーレタス、キャベツなど





このような症状が あらわれたときには、 担当医師にご相談して ください。

肺塞栓症、狭心症、 心筋梗塞のうたがい。

- 発汗
- 息切れ
- 胸の圧迫感
- 胸の痛み

心不全のうたがい。

- からだがだるい
- 全身のむくみ
- 息切れ

脳梗塞のうたがい。

- 頭痛
- はき気
- しゃべりにくい
- 手足や顔の麻痺

肝機能障害、 黄疸のうたがい。

- からだがだるい
- 食欲不振
- 皮膚や白目が黄色い

中毒性表皮壊死症、 多形紅斑のうたがい。

- 発熱
- 関節の痛み
- 赤い発疹や水ぶくれ

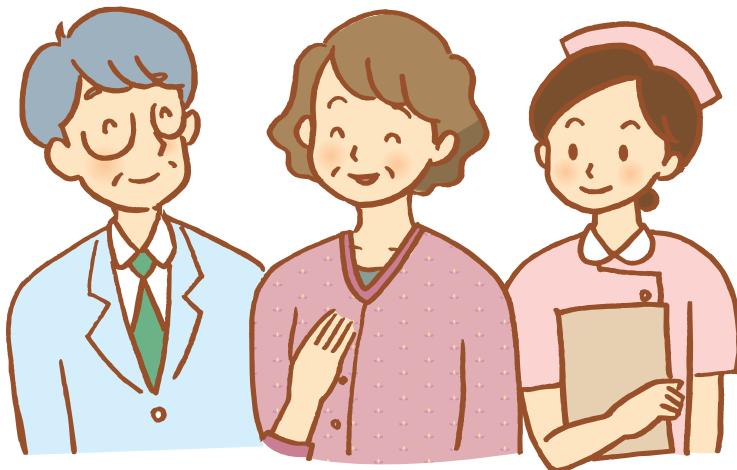


副作用がつらいときは どうしたらよいですか？

副作用のあらわれかたには個人差がありますから、「つらい」と思ったら担当医師や看護師、薬剤師にご相談してください。

副作用の症状をかるくするお薬を処方したり、一度治療をお休みして副作用が回復するのを待つこともあります。

副作用を感じたら無理にがまんするのではなく、つらい症状について担当医師、看護師、薬剤師に相談して、一緒に対処ていきましょう。



そのほかに、日常生活で 気をつけることはありますか？

基本的にはこれまでの生活を変える必要はありません。
無理をしないで、いつも通りに生活してください。

●食事、飲酒、喫煙のこと

バランスのとれた食事を心がけ、飲酒はほどほどに、喫煙は健康を害するおそれがありますので控えましょう。

●アナストロゾール錠1mg「日医工」以外のお薬のこと

他にお薬を服用している患者さんは、必ず担当医師に伝えてください。また、市販薬を服用する場合は、服用前に担当医師に確認してください。お薬によっては、アナストロゾール錠1mg「日医工」や市販薬の効き目が強くなったり、また逆に弱くなったりすることがあります。



アナストロゾール錠1mg「日医工」 の服薬方法・注意点は？

通常、1日1回1錠を毎日服用します。担当医師の指示を守って服用しましょう。自分の判断で服用を勝手にやめたり、服用方法をかえてはいけません。

服用方法・服用量

アナストロゾール錠1mg「日医工」は、通常1日1回1錠を毎日服用します。服用する際には、お薬を包装から取り出し、コップ1杯程度の水（またはぬるま湯）で飲んでください。また、アナストロゾール錠1mg「日医工」は、いつ服用しても効果は変わりません。飲み忘れを防ぐために、1日1回時間を決めて服用しましょう。一般に朝食後の服用が、最も飲み忘れが少ないと言われています。

服用期間

服用期間は、患者さんによってことなりますので、担当医師の指示に従ってください。自分で勝手に服用をやめてはいけません。



お薬を飲み忘れてしまったときには どうしたらよいですか？

もし、服用を忘れた場合は、同じ日のうちに気がついたときはできるだけ早く服用してください。翌日になって気がついたときは忘れた分は服用せずに、1回分のみ服用してください。忘れてしまったからといって、一度に2回分を服用してはいけません。





あやまって多く服用してしまったときにはどうしたらよいですか？

あやまって多く服用してしまった場合には、担当医師、看護師、薬剤師にご相談してください。



その他の服用時の注意点

●次のような患者さんは、服用前に担当医師に相談してください。

- ・以前にお薬を飲んで発疹などが出たことのある人
- ・肝臓や腎臓に病気がある人

●眠気があらわれたり、意識がぼんやりすることがありますので、自動車の運転や危険を伴う機械を操作するときには注意してください。

●他の医療機関を受診する場合や薬局で薬を買う場合は、アナストロゾール錠1mg「日医工」を服用していることを医師や薬剤師に伝えてください。

●高齢のかたは特に担当医師の指示を守って服用してください。

●アナストロゾール錠1mg「日医工」は直射日光を避け涼しいところで保管してください。また、子どもの手の届かないところで保管してください。

術後の定期検診は必ず受けてください。

定期検診は必ず受けましょう。乳がんの手術を受けた患者さんの中には、しばらくたって再発するケースもあります。

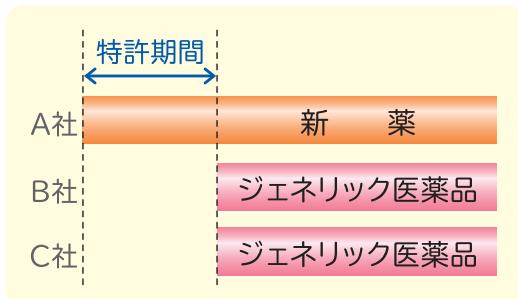
このため、定期的に診察を受けることが大切です。手術後3年間では、3～6ヶ月ごと、4～5年目は、6～12ヶ月ごと、5年以後は年1回の問診・視触診が推奨されています。

万が一、乳がんが再発した場合でも、適切な治療を行うことで、十分な治療効果をあげることが期待できますので、定期的な診察は必ず受けるようにしてください。定期検診の時期は個人によって違いがありますので、担当医師と相談してください。



ジェネリック医薬品てどういう薬なの？

アナストロゾール錠1mg「日医工」はジェネリック医薬品です。ジェネリック医薬品は新薬の特許が切れたあとに発売される新薬と同じ有効成分で、同等の効き目、同等の安全性をもつ安価で厚生労働省が認めたお薬です。



薬の名前・剤形・有効成分など

製品名

アナストロゾール錠1mg「日医工」

一般名

アナストロゾール

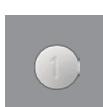
有効成分含量

1錠中1mg

外観



表面



裏面

剤形

白色のフィルムコーティング錠

識別番号

n223

医療機関名

